

# 平成31年(令和元年) 第Ⅱ回短答式試験 財務会計論

講評と各問題の解説



Produced by K. Watanabe

## 1 今回の出題の特徴

### (1) 出題構成等

		H29 I	H29 II	H30 I	H30 II	H31 I	H31 II
理論		12問 (96点)	10問 (80点)	9問 (72点)	9問 (72点)	11問 (88点)	9問 (72点)
計算個別		10問 (80点)	12問 (96点)	13問 (104点)	13問 (104点)	11問 (88点)	13問 (104点)
計算総合		4問 (24点)	4問 (24点)	6問 (24点)	6問 (24点)	6問 (24点)	6問 (24点)
合計		26問 (200点)	26問 (200点)	28問 (200点)	28問 (200点)	28問 (200点)	28問 (200点)
平均	財務	44.1%	33.2%	45.0%	40.4%	38.1%	?
	全体	51.6%	43.7%	49.7%	45.9%	44.2%	?
ボーダー		71%	64%	70%	64%	63%	?



## (2) 難易度等

- ・ 計算の個別問題に解きづらい問題があった
- ・ 総合問題は前回と比較すると格段に解きやすかった
- ・ 理論は標準的～やや易しめの難易度
- ・ 全体としてはH31 I よりも易しい出題




## 2 各問題の検討


問題1	理論：概念フレームワーク	正解 5 (イ・エ)
	難易度 A。アとウの誤りが明確。確実に正答したい。	
問題2	理論：財務諸表等規則	正解 1 (ア・イ)
	難易度 A。ウとエの誤りが明確。確実に正答したい。	
問題3	理論：資産会計	正解 2 (ア・ウ)
	難易度 A。全肢判断しやすい。確実に正答したい。	
問題4	計算：現金預金	正解 4 (2,302,050円)
	難易度 C。解きづらい。指示から推定される処理が採られていないこともあり、正答は難しい。	
問題5	計算：負債会計	正解 4 (19,098万円)
	難易度 B。処理が多い。前受収益は1年基準が適用されずすべて流動負債。外貨建前受金は換算替しない。	




問題6	計算：社債	正解 4 (385,787千円)
	難易度 A。テキスト例題レベル。確実に正答したい。	
問題7	計算：無形固定資産	正解 5 (673,980千円)
	難易度 A。落ち着いて計算し集計するだけ。落とすと痛い。	
問題8	計算：純資産会計	正解 6 (2,207,000千円)
	難易度 A。純資産に与える影響のみに着目すればいい。落ち着いて計算できたかどうか。	
問題9	理論：収益認識	正解 2 (ア・ウ)
	難易度 C。対策が手薄と思われる。勉強していればアとウは正、イは誤と判断しやすい。	
問題10	計算：特殊商品売買（試用販売）	正解 6 (1,242千円)
	難易度 C。原価率算定が絡む。対策していない場合は即飛ばし。正解が6なのでラッキーも少ないと思われる。	




問題11	計算：工事契約・会計上の変更等	正解 1 (600・0)
	難易度 A。遡及処理の意味が分かっていたら易しい。過去の誤謬の訂正で特別損益は計上されない。	
問題12	計算：貸倒見積高	正解 5 (816,974・557,823)
	難易度 A。テキスト例題レベル。確実に正答したい。	
問題13	理論：ストック・オプション	正解 3 (イ・アエ・ウ)
	難易度 A。計算の処理を思い浮かべるだけ。確実に正答したい。	
問題14	計算：ストック・オプション	正解 4 (△11,250)
	難易度 B。ストック・オプション数を変動させる条件変更分は従来分と区別して計算する。この知識がないと正答できない。	
問題15	計算：セール・アンド・リースバック	正解 4 (4,276・900)
	難易度 A。資産関係のみ問われているため易しい。確実に正答したい。	



問題16	理論：退職給付	正解 2 (ア・ウ)
	難易度 B。イとウが明確だが、他は細かい。	
問題17	理論：研究開発費及びソフトウェア	正解 5 (イ・エ)
	難易度 A。イとエの判断に悩むかもしれないが、アとウが明確であるため正答可能。	
問題18	計算：外貨換算	正解 4 (6,400・6,000)
	難易度 C。取引が複雑で処理も面倒。手をつけても正答の期待は薄いため、飛ばすのが正解。	
問題19	計算：包括利益	正解 1 (0・1,240)
	難易度 A。P社とS社に分けて慎重に算定するだけ。	
問題20	理論：四半期財務諸表	正解 1 (ア・イ)
	難易度 A。アとイの判断に悩むかもしれないが、ウとエが明確であるため正答可能。	



問題21	理論：セグメント情報等の開示	正解 2 (ア・ウ)
	難易度 B。対策が比較的手薄なところ。アとイは明確だが、他の判断は悩むかもしれない。	
問題22	計算：税効果会計	正解 4 (1,755千円)
	難易度 C。一時差異の集計問題であり手をつけたいが、回収可能性が問われているため飛ばすのが正解。	
問題23～28	計算：連結会計の総合問題 (出題論点：資本連結の基本的処理・付随費用・子会社株式の一部売却・子会社の株主割当増資・未実現利益の消去(ダウン)・連結C F計算書)	問題23 正解 2 (19,750百万円) 問題24 正解 5 (480百万円) 問題25 正解 4 (11,526百万円) 問題26 正解 3 (6,648百万円) 問題27 正解 3 (7,796百万円) 問題28 正解 6 (1,270百万円)
	難易度は順に B A A A B C。前回より格段に易しい。特に問題24～問題26はタイムテーブルから簡単に引き出せる。正答困難なのは問題28のみ。最低でも3問欲しい。	



### 3 全体を振り返って

- 理論は9問のうちできれば7問以上の正解が欲しい
- 計算個別は問題4・10・18・22が難しい
- 計算総合は高得点を確保したい
- 予想ボーダーについては5/29に公表予定

